

「よい CSR 調達」と「悪い CSR 調達」には境目があるのを知っていますか？

これから「よい CSR 調達」を志向せねばなりませんよね。では、どうしたらすぐれた CSR 調達を実施できるか知っていますか？

他の調達部門はこんなことをやっていたのか？！

他企業の CSR 調達に遅れをとってはいけません。昨今では、コンプライアンスを遵守した調達こそ、大切だからです。そして、他社優位性を発揮できる領域だからです。しかし、ご安心ください。調達・購買部門のトップレベルの CSR 調達を学べる機会があります。

もしあなたが CSR 調達について迷っていたり、あるいは「どこまでやればいいんだ」と途方にくれていたりしたら、朗報があります。もう迷わずにすみませう。

他社がどうやって CSR 調達を推進しているのか？ どのような考えをもって？ そして具体的にはどのようなツールを使っているのか？ では、その CSR 調達の悩みに終わりを告げる、その方法とは？

みなさま、牧野直哉です。

率直に申し上げます。このたび、「最新事例で学ぶ CSR 調達の実践」というセミナーを開催しますので、お申込みください。絶対にソンはさせませう。

繰り返される企業の不祥事によって、CSR（企業の社会的責任）実践の重要性は日増しに高まっています。調達購買部門でも CSR 調達を実践し、具体的な取り組みをおこない、企業ブランドの維持向上への貢献が求められています。

たとえば先日、欧州の衣料品メーカー「プライマーク」のズボンを買った英国の消費者が、中国の刑務所の強制労働の実態を告発する手書きのメモが出てきたと訴えました。英国では同様のメモが相次いで発見。同社は調査に乗り出したことを明らかにした。なんでも、そのメモには、「私たちは毎日15時間働かされ、豚や犬さえ食べないような物を食べている」「中国政府によるこのような人権侵害を糾弾してほしい」などと書いてあったというのです。

これは消費者からすると、単に企業不祥事のニュースです。しかし、私たち調達・購買部門からすると、こ

これは対岸の火事ではありません。まさに「リアル」な、起こる可能性のある出来事です。海外の劣悪な労働環境による人的被害によって、企業が糾弾される事態が頻発しています。サプライヤ労働者人権への配慮までも必要な時代になっているのです。

今回のセミナーでは「CSR 調達とはなにか」についての、基本的な部分から、先進的な取り組みをおこなっている企業の事例を参考にして、各企業それぞれに最適な CSR 調達の姿を設定し、実践方法を学びます。

対象者は、もちろん調達・購買担当者を含みますが、テーマとしてもっと広い層を考えています。

- ・ 調達・購買部門の方々
- ・ CSR 調達にご興味のあるの方々
- ・ 全社企画部門の方々

- | | |
|------------|--|
| ● セミナータイトル | : 最新事例で学ぶ CSR 調達の実践 |
| ● 講師 | : 牧野直哉 |
| ● 日時・時間 | : 2015年4月15日(水)、10:00~16:45 (お昼休みには、昼食代をお渡しします) |
| ● 価格 | : 50,000円(税別) 同一企業様からお二人以上ご参加の場合は、
ご優待価格としてお二人様目からはお一人、10,000円(税別)。テキストつき |
| ● 場所 | : 東京新宿区会議室 |

アジェンダをご紹介します。

(1) CSR 調達とはなにか

～CSR 調達をグローバル視点で理解する

- ① CSR 調達を一言で表現してみる
- ② CSR 調達の定義
- ③ CSR 調達の実践例
 - 1) スポーツ用品メーカー
 - 2) IT 機器メーカー
 - 3) アパレル
- ④ なぜ、CSR 調達が今、求められているのか
 - 1) 顧客への配慮
 - 2) ブランド維持

(2) CSR 調達に必要な基礎的条件

～CSR 調達実践に必要な環境条件を評価し、自社の不足部分を理解する

- ① 社内的要因
 - 1) 全社視点
 - 2) 事業/事業所視点
 - 3) 調達購買部門視点

②社外的要因

- 1) サプライヤ
- 2) 市民・地域住民
- 3) 従業員

③リスクを評価する

- 1) 社内リスク
- 2) 社外リスク

(3) CSR 調達が失われた事例

～CSR 調達がおこなわれなかった場合のリスクを事例から読み解く

①CSR 調達に関連した問題 ～近年の話題を例に

- ②事例1 人権
- ③事例2 品質・安全
- ④事例3 情報管理
- ⑤事例4 食品偽装
- ⑥事例5 サプライヤ

(4) CSR 調達実践に必要な社内体制

～社内機能別 CSR 調達実践を目指した具体的な準備を学ぶ

- ①前提条件
- ②調達購買部門
- ③購入要求部門
- ④総務・広報部門
- ⑤バイヤ個人

(5) CSR 調達 推進方法と実績評価

～具体的な CSR 調達の実践方法を学ぶ

- ①コンプライアンス観点
- ②自社事業内容観点
- ③地域貢献観点
- ④グローバル観点

※一部変更の可能性がります。

- セミナータイトル : 最新事例で学ぶ CSR 調達の実践
- 講師 : 牧野直哉
- 日時・時間 : 2015年4月15日(水)、10:00～16:45(お昼休みには、昼食代をお渡します)
- 価格 : 50,000円(税別) 同一企業様からお二人以上ご参加の場合は、
ご優待価格としてお二人様目からはお一人、10,000円(税別)。テキストつき
- 場所 : 東京新宿区会議室

保証について

せっかくですから保証もつけます。みなさんが、「参加しない」ことを選ばない保証をつけます。このセミナーを受けていただき一日を私と過ごし、このセミナーでお伝えする内容、ご質問にたいするお答えあるいはアドバイスに満足できなかった場合、セミナー終了後365日以内にお申し出ください。**あなたはセミナー参加費全額返金請求を行使できます。**また、あなたが返金請求の権利を行使したとしても、次のことはお約束します。

1. お申し出がありましたら、理由は聞かずにご返金します。
2. もし返金請求なされたとしても、私とあなたの関係は友好的です。

不正防止のため、参加時は御社からのお振込みであったにもかかわらず、ご本人様口座あての返金はできませんことご容赦ください。また、文字の書き込みをなさっていてもかまいませんので、講義テキストなどの資料はご返却ください（ご希望あらば着払いでもかまいません）。

ただし、ご不満があればすぐさまご返金しますので、ご安心ください。言葉をかえれば、「**みなさんは、ご参加に何のリスクもない**」と行ってしまってよいでしょう。価値の無いものにお金は支払いたくない。そう考えるのは調達・購買担当者であれば当然の思考だからです。いかがでしょうか。もちろん、ここまで真面目にお読みいただいた方々にヘンなひとはいないと思いますが、まさに“意を決した保証制度”です。

それではセミナーでお会いしましょう。当日を楽しみにしております。

- セミナータイトル : 最新事例で学ぶ CSR 調達の実践
- 講師 : 牧野直哉
- 日時・時間 : 2015年4月15日(水)、10:00~16:45(お昼休みには、昼食代をお渡しします)
- 価格 : 50,000円(税別) 同一企業様からお二人以上ご参加の場合は、
ご優待価格としてお二人様目からはお一人、10,000円(税別)。テキストつき
- 場所 : 東京新宿区会議室

学習の価値をご存知でしょうから、お申込みをお待ちしております。よろしく申し上げます。

リンクを押して、セミナーにお申込みください。

最後までお読みいただきありがとうございました。すぐさま下リンクをクリックし、DVDをお申込みなさってください！

<http://www.future-procurement.com/event/csrpro/>

(PDFからジャンプする設定禁止の場合は、コピーするか前の画面からお申込み画面に進んでください)
次はセミナーでお会いできれば幸いです。